

<社会科研究主題>

基礎・基本的な知識の定着を図り、思考力・判断力・表現力を高める

1 単元名 グローバル社会と人権

2 単元について

(1) 単元観

この単元は、「第2章 人間の尊重と日本国憲法」の「3節 これからの人権保障」のうち「②グローバル社会と人権」として、この節の最終部分となる単元である。すでに前の単元までに、日本国憲法の基本原理、平等権・自由権・社会権・参政権などの基本的人権についてとりあげている。

この単元の学習指導要領では、「2 内容」の「(1) 私たちと現代社会」において、「ア 私たちが生きる現代社会と文化」において「現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解させるとともに、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付かせる」としている。

また、「3 内容の取り扱い」において、「ウ 分野全体を通して、習得した知識を活用して、社会的事象について考えたことを説明させたり、自分の意見をまとめさせることにより、思考力、判断力、表現力等を養うこと。また、考えさせる場合には、資料を読み取らせて解釈させたり、議論などを行って考えを深めさせたりするなどの工夫をすること」とある。

(2) 生徒の実態

多く活発な生徒が多く、学習意欲もある。教科書や資料集などを使ってワークシートをすすめるなど、机上の作業学習よりもフリートーク形式のような場面の方が学級全体として積極的に活動している。発表の挙手は全体として特定の生徒が手を挙げることが多い。

また、ワークシート以外の自分で考えたことや感想などについての発表を求めると、あまり挙手が見られず、発表することをためらったり、尻込みしているような雰囲気をもった学級である。

全体としては元気のある学級なので、個別の発表形式ではなく、グループで討議し発表する形式の、グループ活動を取り入れた形での授業を行いたいと思う。

【アンケートの実施】

授業での日常的な活動に対する生徒の実態を把握するため、通常の授業と比較するためにも、記述式で以下の項目でアンケートを実施した。

＜授業全体について＞

①あなたのクラスは、どんなクラスですか？ プラス面・マイナス面の2つについて簡単に紹介してください。

プラス面	明るい おもしろい 真面目 元気がある にぎやか 明るくて楽しい 仲がいい
マイナス面	うるさい おちつかない 静けさがない 私語が多い きりかえ けじめがないときがある まとまりがない 反応が薄い 寝ている人がいる

②あなたにとって公民の授業はどのようなものですか？（5つから選んでください）

5：大変楽しい	4：楽しい	3：どちらでもない	2：つまらない	1：大変つまらない
1名	5名	18名	1名	0名

回答数は25名であった。その回答内容から、「どちらでもない」が半数近くをしめており、「大変楽しい」と「楽しい」が6名、「つまらない」「大変つまらない」が1名という結果であった。全体からするとニュートラルな半分と「大変楽しい」・「楽しい」が6分の1を占める状況がうかがえる。

③公民の授業に楽しいことがあるとすれば、どんなことですか？（いくつでも）

いろいろと新しいことを学べる	社会のことがわかる	説明がおもしろい	人権
考えること	資料を見て理解すること	気になってたことが分かったとき	政治

④公民の授業につまらないことがあるとすると、どんなことですか？（いくつでも）

ややこしい	自分にあんまり関係なさそう	おぼえること	書くのでいっぱいなこと
知らない話が多くなる時	少し歴史的な所がある	用語の意味がわからない所がある	
金融関係			

⑤公民のワークシート（内容・文字の大きさなど）について、プラス面・マイナス面を指摘してください。

プラス面	わかりやすい ノートに貼れる 図とかあって見やすい 役に立つ 見直しやすい まとまってて便利 わかりやすく書いてくれる 見返すと要点が見やすい 内容が具体的に書いてある 字の大きさ
マイナス面	半分に切ってほしい ノートにちょうど収まらない 大きい 時々わからない所がある 大きさが合わない 切ったりしてるといっぱいになる 大きすぎ 紙の大きさ 切る手間がある

⑥公民の図版（図のプリント）について、（内容・大きさなど）プラス面・マイナス面を指摘してください。

プラス面	大きい ノートに貼れる 見やすい 見直ししやすい 大きくて見えやすい 字の大きさはちょうどいい ちょうどいい ノートを見たときに横にあるとうれしい
マイナス面	大きすぎる わかりにくい カラーじゃないこと 大きすぎ みえにくいときがある ちょっと見にくい

⑦公民の授業の板書について、（内容・文字の大きさなど）プラス面・マイナス面を指摘してください。

プラス面	見やすい いろんな色を使っていい 見返しやすい ちょうどいい 重要なところが赤で分かりやすい 字が少し見やすい
マイナス面	ゴチャゴチャしている 少し早い 量が少し多い 書く量が多い 色をたくさん使ってほしい

⑧公民のノートのとり方で、自分なりに工夫していること（色使い・書き込みなど）があれば教えてください。

<p>ノリで貼っている 大切なものは色ペン 吹き出しを付けて見やすいようにしている 大事なところは線を引いたり色ペンで書いている 教員が話していた内容もメモしている 分からない言葉の意味をノートの端に書いている ノートに合わせて切っている 右5cmぐらいで線を引いて大事そうなことを記入している 色を使いすぎない</p>
--

⑨その他、公民の授業で何か気付いたことがあれば、自由に書いてください。

<p>歴史よりも現代に近づいている 書いてばっかでつまらない 紙がでかい</p>
--

以上のようなアンケートの結果から、3年C組の生徒は日常的な授業の教具（ワークシートや図版）の内容など現状について一定のプラス評価をしている反面、マイナス面についても冷静に判断しているといえる。また、ワークシートの限界についても気付いている者がいる。

総じて、②の質問とあわせて分析すると、同じ傾向にあるものと思われ、生徒がもっと別の活動を欲しているという潜在的な要求も感じられる。

そのため、生徒の特性を生かしたグループ形式の授業形態を試みる次第である。

### （3）指導観

3年C組の生徒は、教員の発問に対して考える姿勢はみせるが、積極的に反応することは、希薄なことが多い。その反面、班単位などのグループ活動においては、メンバー相互に活発な発言や活動を見せる場面が多いと感じている。

そのため、今回の授業では学級の特性を生かして、グループ活動を取り入れ、メンバー相互の相乗効果を期待した授業を展開してみたいと思う。

### 3 単元の目標

- 社会の変化とともに人権の考え方が変化することについて、具体的な事例を通して気付かせるとともに、社会の変化にともなって生じた人権上の新しい課題にはどのようなものがあり、それらの解決がなぜ重要なのかを理解させる。
- 読み物資料や新聞記事などを活用し、人権保障の国際的な広がりやインターネットと人権とのかかわりなどについて、現状と課題を読み取るとともに、その改善策について多面的・多角的に考えさせる。

#### 【社会的的事象への関心・意欲・態度】

- 人権をめぐる近年の動向について関心を高めるとともに、現代社会における人権上の課題について、社会の形成者としての立場から関心を持ち、自ら人権を守り、民主的な社会生活をつくり上げようとする態度が見られる。

#### 【社会的な思考・判断・表現】

- 社会の変化にともなって生じた人権上の新しい課題について、日本国憲法をもとに課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を活用して多面的・多角的に考え、意見を交換したり、文章にまとめたりしている。
- 現代的な人権上の課題についてのディベートを行う中で、自らの主張をわかりやすく表現していると同時に、相手の主張を把握・分析し、的確な反論や質問をしている。

#### 【資料活用の技能】

- 社会の変化にともなってどのような人権上の課題が生じてきたかを、コラムや統計資料などから読み取り、図表などにまとめている。
- 現代社会における人権上の課題について、教科書のコラムや図表などから論題に関連するものを選び、必要な情報を読み取っている。

#### 【社会的事象についての知識・理解】

- 具体的な事例を通して、社会の変化にともなって人権の考え方が変化することに気付くとともに、環境権やプライバシーの権利などの新しい人権が主張されるようになってきたことを理解し、その知識を身に付けている。

### 4 指導計画（4時間）

学習過程	時配	主な学習内容	評価規準
1. 社会の変化と「新しい人権」	1	環境権 知る権利 プライバシーの権利 自己決定権	○知る権利とプライバシーの権利の衝突について、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を活用して考察し、意見交換をしたり、文章にまとめたりしている。 (思考・判断・表現) ○身近な事例を通して、社会の変化と人権とのかかわりに気付くとともに、「新しい人権」にはどのようなものがあるかを理

			解し、その知識を身に付けている。 (知識・理解)
2. グローバル社会と人権 (本時)	1	人権保障の国際的な広がり 科学技術の発展と人権 インターネットと人権	○教科書の資料や「公民にアクセス」などからグローバル社会における人権課題について読み取り、図表や短文などにまとめている。(技能) ○グローバル化の進展にともない、世界規模での人権尊重のためにどのような努力が行われているかを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)
3. 人権の考え方を使って社会を見てみよう	1	～ディベートにチャレンジ～	○学習活動を通して、これまでの学習を振り返るとともに、社会の形成者として、人権を積極的に守り、発展させていこうとする意欲が見られる。(関心・意欲・態度) ○具体的な事例を取り上げ、「人権というものさし」を使って課題の状況や解決への取り組みについて考察し、人権保障のあり方について意見交換をしたり、レポートにまとめたりしている。 (思考・判断・表現)
4. 【深めよう】社会の安全と人権—防犯カメラについて考える—	1	増加する防犯カメラ 防犯カメラ設置の背景 防犯カメラとプライバシー 安全と人権の両立のために	○韓国の植民地化の動きを、抵抗運動、土地問題、教育の点から考察し、表現している。(思考・判断・表現) ○韓国の植民地化の進展や中国国内の様子を理解し、その知識を身に付けている (知識・理解)

5 本時の指導

(1) 目標

国際的な人権保障の重要性について、具体的な事例を通して理解するとともに、グローバル化の進展とともに人権の考え方が変化してきたことに気付く。

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的人権について、どのような権利が認められているか確認することを伝える。</li> <li>・ 資料集 p. 23 を開かせ「憲法が保障する基本的人権」図を TV に提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでに学んだ人権について再確認する</li> <li>○ 既習事項から、どのような人権があるのかが確認できる。</li> <li>・ 「憲法が保障する基本的人権」図を簡単に説明する。</li> <li>○ それぞれの人権の内容を理解することができる。</li> </ul>	資料集 p. 23 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">3</span>
<h2 style="margin: 0;">グローバル社会と人権について考えよう</h2>			
展開 1 20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ちがいのちがい」を TV に提示する。</li> <li>・ カードの⑥⑦⑩について、班ごとに「あってよいちがい」か「あってはいけないちがいか」を討論する</li> <li>・ 判断に際しては、根拠となる権利や条文を資料から見つけて明示する</li> <li>・ 班隊形になって司会（2名）、書記（2名）、発表者（2名）の担当を決め、作業に入る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 机間巡回を行い、各班の役割分担や各作業の進行を把握・指導する。</li> <li>○ それぞれの役割を理解し、作業を進めることができる。</li> <li>○ 互いに協力しながらグループ活動を行うことができる。</li> </ul>	教科書 p. 32-33  検討用紙
展開 2 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 完成した班から黒板に掲示していき、自班の作業についてワークシートに記入する。</li> <li>・ 自班以外の判断について、ワークシートに他班の判断についてコメントを記入していく。</li> <li>・ よいと思うポイントを発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業の遅滞している班を支援する。</li> <li>○ 他の班の作品を観て、その内容について言葉で表現することができる。</li> <li>・ 生徒の意見をふまえて各班の判断について教員が補足・解説する。</li> <li>○ 自分の意見を言葉で表現して、発表することができる。</li> </ul>	ワークシート  資料集
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートに今回の授業の感想、ふりかえりを記入する。</li> <li>・ ワークシートを回収する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の授業で全体のふりかえりを行う。</li> </ul>	

②グローバル社会と人権 →教科書 P. 56-57、32-33 資料集 P. 25-45

○自分たちの判断の良いところを記入しよう \_\_\_\_\_ 班

○他の班の判断の良いところを記入しよう

\_\_\_\_\_ 班

\_\_\_\_\_ 班

\_\_\_\_\_ 班

☆今日の感想をまとめてみよう

○検討・発表用紙（案）

カード番号		班番号	
判 断		あってよいちがい	あっていけないちがい
根 拠	権 利		
	条文など		
理 由			

カード

6

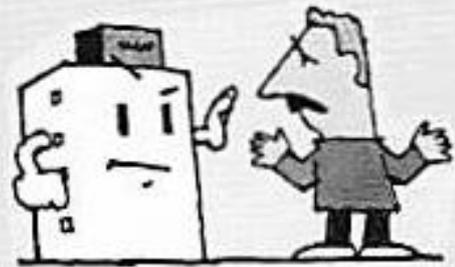
イスラム教徒は<sup>ぶたにく</sup>豚肉を食べず、ヒンドゥー教徒は牛肉を食べない。



カード

7

外国人のCさんは、日本<sup>こくせき</sup>国籍を持っていないという理由でマンションの入居を断られた。



カード

10

世界の多くの国では18歳から選挙で投票できるが、日本では20歳にならないと投票できない。

